

館林市橋梁長寿命化修繕計画

令和2年6月

館林市 都市建設部 道路河川課 維持係

1. 長寿命化修繕計画の目的

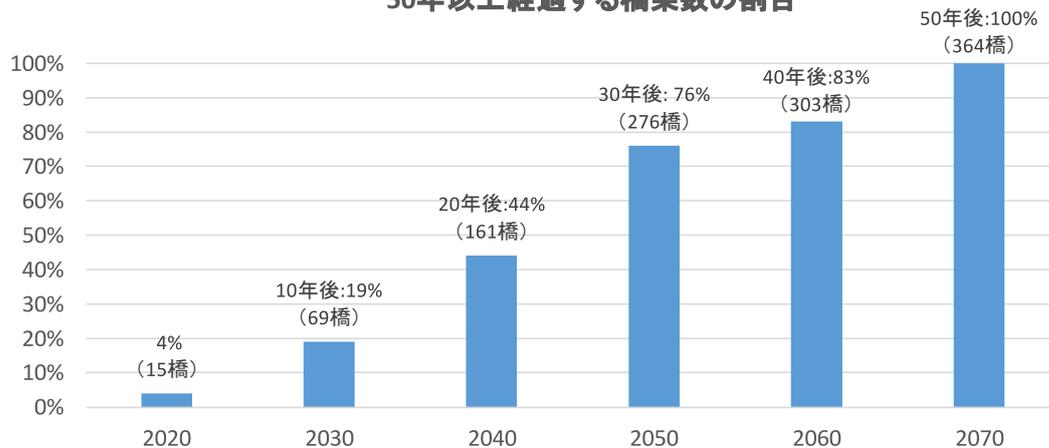
1) 背景

館林市が管理する橋梁は、2020年度現在で364橋架設されています。

このうち、建設後50年を経過する橋梁は、全体の4%を占めており、20年後の2040年度には、44%程度に増加します。

今後、管理する橋梁の老朽化が急速に進むことから、従来の事後保全型の維持管理を継続した場合、そのために必要なコストが膨大となり、厳しい財政状況の中で安全性・信頼性の確保のための適切な維持管理を続けることが難しくなる恐れがあります。

50年以上経過する橋梁数の割合



2) 目的

今後高齢化する道路橋の急速な増大に対応するため、従来の対症療法的な修繕および架替えから、予防保全的な修繕および長寿命化修繕計画に基づく架替えへと円滑な政策転換を図ります。これにより橋梁の長寿命化および橋梁の修繕・架替えに係わる費用の縮減を図り、地域道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とします。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	一般国道	主要地方道	館林市道	合計
全管理橋梁数	0	0	364	364
うち計画の対象橋梁数	0	0	364	364
うち2019年度計画策定橋梁数	0	0	364	364
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	51	51

長寿命化修繕計画の対象：

- ・ 緊急輸送路に位置する橋梁
- ・ 桁下に道路がある橋梁
- ・ 観光地へのアクセス道路に位置する橋梁
- ・ バス路線に位置する橋梁
- ・ 市町村間を結ぶ路線に位置する橋梁
- ・ 国道、主要地方道へのアクセス路線に位置する橋梁
- ・ 近隣に重要な施設がある橋梁

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

健全度の把握については、「群馬県橋梁点検要領（案）」に基づき5年に1回の頻度で実施する定期点検と、2年に1回の頻度で行う簡易点検を基本とします。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、道路パトロールを実施するとともに、清掃や土砂詰まりの除去等の対応が容易な作業を実施します。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針とともに、予防的な修繕等の実施を徹底することにより、修繕・架替えに係わる事業費の大規模化を回避し、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

【長寿命化修繕計画の基本方針】

a) 点検計画

◆点検は、5年に1回の頻度で実施する定期点検を基本とします。

b) 修繕計画

◆今回の修繕計画は、H26年度～H30年度に実施した橋梁点検結果に基づいて立案します。

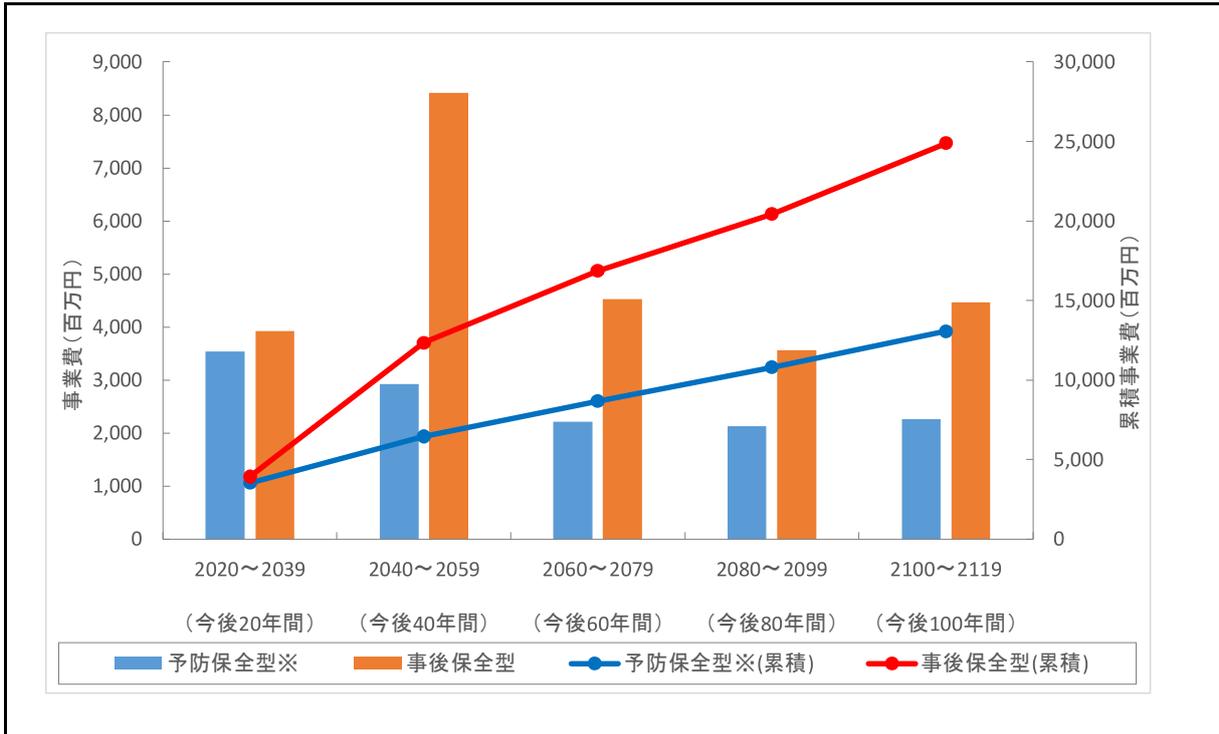
◆館林市で管理する橋梁364橋に対し優先して計画を策定します。

◆点検により修繕が必要な損傷が見つかった場合は、次回点検までを目標に優先順位を決めて修繕を実施します。

5. 長寿命化修繕計画による効果

予防保全を基本とした長寿命化修繕計画の実施により、従来の事後保全的な管理と比較し、今後100年間で118億4300万円のコスト縮減が見込めます。

- 1) 事後保全型の累積事業費 ----- 100年間総費用 249億1400万円
 - 2) 予防保全型の累積事業費 ----- 100年間総費用 130億7100万円
 - 3) コスト縮減の効果 249億1400万円 - 130億7100万円 = 118億4300万円
- また、50年の累積費用についても23億500万円のコスト縮減効果が見込めます。



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

館林市 都市建設部 道路河川課 維持係
0276-72-4111

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

前回の意見聴取者：前橋工科大 工学部 社会環境工学科 准教授 岡村 雄樹